

今年で175回を迎える夏の祭典

ゲント・フェスティバル

<https://gentsefeesten.stad.gent>

日程：7月13日(金)～22日(日)

7月15日(日)23hからPortus Gandaで花火が上がります!!

ゲントといえば、まず、ファン・アイク兄弟作、ベルギー7大秘宝の一つ絵画「神秘の子羊」とゲント大学が思い浮かびますね。そして、金曜日市場(vrijdagmarkt)にある、靴を預けないと飲めないビール、クワックを提供し、350種ものビールを置いているカフェDulle Grietのある街としても有名です。そんなゲントで、夏に開催されるフェスティバルに出かけて、観光も楽しみましょう。

19世紀にさかのぼるこのお祭りは、1960年代後半に今の形となり、ミュンヘンのオクトーバーフェスト、バレンシアの火祭りに次いで世界各国から150万人余りの人々が詰めかけるイベントになっています。

老若男女が楽しめるお祭りGentse Feestenのお勧めは人によって違うのですが、聖ニコラス教会を中心とした街のあちこちで、昼間は子ども向けのパフォーマンス、フェイスペインティング、風船での動物作りや人形劇などがあります。大人向けには、コンサート、ストリートパフォーマンスがあり、食べ物の屋台も出



店していて、家族や友だちと食事をしたり、踊り歩いたり、ゲント全体がお祭り騒ぎとなります。あまりの人出に、この期間、家には誰もいないのかもと思うくらいです。どのイベントも無料で、ゲントの懐の深さを感じます。

サン・ミッシェル教会(St. MichielsKerk)のパイプオルガンコンサートは、筆者がよく鑑賞する演奏会の一つです。毎年、そのプログラムを見て行くか行かないかを決めるのですが、毎回パイプオルガンの演奏を聞いて、心が和んでいます。もうちょっと若いころ(?)は、夜のコンサートをはしごしていました。



写真左のように、教会内にカフェが一時的に設置され、飲食ができることもあります。歩き疲れたら、こんなカフェで一服するのもいいですね。さらに

は、静かな流れの運河に浮かぶ遊覧船に乗って、別の角度からお祭りを眺めるのもゲントならではの楽しみです。



夜が更けると、ライトアップされた古い建物がムードを盛り上げ、コンサートの熱気は最高潮に達します。国境を超えて、いろいろな言葉が飛び交う中、お祭りのリズムを肌で感じるでしょう。ヨーロッパの夏をこの

ゲントで味わってみてはいかがでしょうか？上記ウェブサイトイベント日時、場所が掲載されています。お気に入りのイベントを見つけてくださいね。

ゲントではお祭り明けの月曜日は「財布が空っぽの月曜日」になるそうです。盗難に遭ったり、使いすぎて帰宅時の電車代が無くならないようにご注意ください。

おまけ情報

スープ店 Souplounge
www.souplounge.be
Zuivelbrugstraat 4, 9000 Gent
10h～19h、月休
好みのスープ+パン2個+りんご=€6.50

食べ損ねた昼食代わりに、または、温かいスープを飲んでから、夜のコンサートに出かけるのもいいですね。